

2nd Stage 常任指揮者ステージ

『Missa Brevis』

作曲／Giovanni Pierluigi da Palestrina

指揮／藤井 宏樹

作曲者の Palestrina は 16 世紀のイタリア・ルネサンス後期の作曲家である。本名は「Giovanni・Pierluigi」という。ローマに近いパレストリーナという地で生まれたことから「Giovanni Pierluigi da Palestrina」というように出身地による呼び方が定着した。

Palestrina は「教会音楽の父」とも呼ばれており、100 曲を超えるミサ曲、300 曲以上のモテット(ミサ曲以外のポリフォニーのこと)をはじめとする数多くの教会音楽を作曲している。

ミサ曲とは、ミサ通常文に統一性をもたせて作曲されたもののことを言い、Kyrie(憐れみの賛歌)、Gloria(栄光の賛歌)、Credo(信仰宣言)、Sanctus(感謝の賛歌)、Benedictus(祝福の賛歌)、Agnus Dei(平和の賛歌)の 6 曲によって構成される。

それぞれの曲ごとに和音の移り変わり、曲の構成が異なるため、曲に込めた想いや願いを歌詞だけでなくメロディーからも感じ取ることができる。

今回演奏するのはそのうち Kyrie、Sanctus、Benedictus、Agnus Dei の 4 曲である。

(文責: 鬼丸瑞樹)